

## 【人間ドック事業】

30～74歳の被保険者を対象に人間ドックを実施（費用の一部補助）

令和元年度予算額	17,210 千円
令和2年度予算額	19,500 千円
受診機関	医療機関等 6 箇所 福井県済生会病院・福井勝山総合病院・福井県立病院 福井赤十字病院・福井県予防医学協会・松原病院
ドック種類	6 コース 1 日ドック・1 泊 2 日ドック・脳ドック 1 日ドック+脳ドック・1 泊 2 日ドック+脳ドック PET-CT がん検診
申込者数	平成 29 年度実績 604 名 平成 30 年度実績 513 名 令和元年度見込 494 名 内 470 名（特定健診対象） 24 名（PET 17 名 39 歳以下 7 名）  令和 2 年度見込 499 名 内 482 名（特定健診対象） 17 名（PET 10 名、39 歳以下 7 名）

## 【入浴サービス事業】

市内 3 公衆浴場で健康風呂を実施

（東湯、キューピー湯、亀山湯）

令和元年度予算額 1,000 千円 実施回数 年 4 回

	実施日		人数
1 回目	4 月 23 日（火）	レモン風呂	217 人
2 回目	6 月 5 日（水）	かんきつ風呂	225 人
3 回目	9 月 19 日（木）	レモン風呂	214 人
4 回目	12 月 21 日（土）	かんきつ風呂	288 人
		合計	944 人

## 特定健診未受診者対策事業

### 特定健診未受診者に対し、受診勧奨通知を送付

- ・健診不定期受診者については、過去の健診受診歴や健診結果、医療機関の受診歴のデータを元に、A I を用いて分析を行い、心理的要因の特性別に資料を作成・送付（平成 30 年度より実施）
- ・健診未経験者および前年度新規国保加入者への受診勧奨

### 実施実績

#### 平成 30 年度

7 月 20 日 4,821 名 健診不定期受診者全員と健診受診未経験者  
10 月 3 日 3,818 名 発送時点での健診未受診者

特定健診受診率（法定報告より）

H29 年 39.1% H30 年 43.6% 前年度比 4.5% 上昇

#### 令和元年度

7 月 24 日 3,000 名 健診不定期受診者全員と健診未経験者の受診確率  
の高い者  
10 月 2 日 1,865 名 健診不定期受診者全員と健診未経験者の内レセプ  
トが無い者  
1 月 15 日 736 名 レセプト有の健診未経験者（個別健診への受診勧奨）

12 月末から 1 月上旬にかけて、市内医療機関へ訪問し個別健診への受診勧奨  
を依頼

### 令和 2 年度について

- ・受診勧奨通知を行う時期は、令和元年度同様に年 3 回（7 月、10 月、1 月）  
を基本とする
- ・受診勧奨対象者のうち、健診受診歴がある者については過去の健診受診日  
を元に受診しやすい月を個人別に分析し、それに応じた時期に個別に通知  
を行う予定

## 糖尿病性重症化予防事業

- ・過去の健診データ、レセプトデータ等から、糖尿病または慢性腎臓病の基準値に該当する者を抽出し、郵送による通知で医療機関への受診勧奨を行う
- ・受診の結果は、医師からの情報提供書を提出してもらうことで確認
- ・情報提供書、またはレセプトで受診が確認できない対象者には、再度、電話、訪問等により受診勧奨を行う

### 対象者

#### 【基準 A】 糖尿病

過去の健診（H29 年度以降）において、ア～ウのいずれかが確認されているものの、前年度から抽出時点までの間に糖尿病等による医療機関受診歴がない者

ア 空腹時血糖	126 mg/dl 以上
イ 随時血糖	200mg/dl 以上
ウ HbA1c(NGSP)	6.5%以上

#### 【基準 B】 慢性腎臓病

過去の健診（H29 年度以降）において、エ・オいずれかが確認されているものの、前年度から抽出時点までの間に糖尿病または腎臓病等による医療機関受診歴がない者（医療機関受診中であって、下記エ・オのいずれかに該当する者には、必要に応じて、保険者からかかりつけ医に対し、保健指導の必要性について相談する）

エ 尿蛋白	2 + 以上
オ eGFR	45ml/分/1.73 m <sup>2</sup> 未満

### 実施実績

2 月中旬に対象者へ通知を送付

【基準 A】 糖尿病	34 名
【基準 B】 慢性腎臓病	22 名

### 令和 2 年度について

- ・健診結果データを元に基準値に該当する者を抽出し、基準値該当者のレセプトを確認し、事業対象者を絞り込む
- ・作成した専用の資材で、対象者へ受診勧奨を行う（資材の作成・発送業務・再受診勧奨を委託）

## 重複・頻回受診、および多重・多剤投薬者に対する取組

・KDB システム（国保情報データベース）ですでに「がん」や「精神」の登録者を抜いて該当者を抽出し、さらにレセプトを確認して保健指導対象者を絞り込み、保健指導を実施する

### 対象者

(令和元年 12 月抽出)

	抽出基準	該当者	保健指導対象者	除外理由
重複受診	3ヶ月連続して、1ヶ月に同一疾患での受診医療機関が3箇所以上	4名	0名	レセプトにより精神や障害者等の受診の場合や、現在1医療機関のみ受診している場合
頻回受診	3ヶ月連続して、1ヶ月に同一医療機関での受診が15回以上	0名	0名	
多重服薬	3ヶ月連続して、1ヶ月に同一薬剤または同様の効能・効果を持つ薬剤を3箇所以上の医療機関から処方	4名	0名	レセプトにより精神や障害者等への処方の場合
多剤服薬	3ヶ月連続して、2医療機関以上で10種類以上の薬剤を服薬	37名	0名	複数の診療科（外科、内科、精神、眼科等）からの処方によりやむを得ない場合

### その他

・後発医薬品について、大野市の使用率が国の掲げる80%に届いていない。保険者努力支援制度での配点も大きく、来年度は使用率を上げるために各関係機関と協力していきたい。

(大野市使用率 75.9% 県内17市町中14位)